

九州大学
大型計算機センターニュース
 No. 130

福岡市東区箱崎6丁目10番1号
 九州大学大型計算機センター
 共同利用掛(TEL092-641-1101)
 内線 2256

目 次

- ◇ ORTEPの使用変更について.....1
- ◇ 利用者提供応用プログラムのサービスについて...2
- ◇ マクロの訂正について.....2

◇ ORTEPの使用変更について

11月15日に、ライブラリプログラムの中のORTEP(結晶構造立体作図)プログラム、No.140 Y1/QU/Z/ORTEPを、UNICS-IIのORTEPプログラムに入れ換えました。主な拡張機能として、隠線消去機能、ペン選択機能が付け加わっています。

以下に主な変更点について列挙します。

1. 最初の「プロッタ単位指定カード」(A2)は使用しない。
2. 隠線消去命令を追加した。
 - 511命令.....だ円および結合の隠線消去に用いる。700シリーズの直前におくこと。
 - 821, 822命令.....結合の隠線消去に用いる。800シリーズの直前におくこと。
3. ペン選択命令(1001命令)を追加した。

カラム	内 容
6-9	1001
18	使用するペンの番号(1:黒, 2:赤)

4 1201命令を追加した。

UNICS-RSFLS4形式の座標カードを読み、新しい座標、温度因子をパンチする。

カラム	内 容
6-9	1 2 0 1
10-18	n (読込まれるパラメータ・カードの枚数)

(この命令カードに続いて、n枚の位置パラメータ・カードを入れる)

使用時のコントロールカードは、これまでと変わりません。なお、詳しいことは、富士通マニュアル「FACOM 230 M-V/VI/VII UNICS-II 解説書」を参照して下さい。マニュアルは、プログラム相談室に備えます。

(ライブラリ室 電(内)2259)

◇ 利用者提供応用プログラムのサービスについて

利用者提供応用プログラムの実行形式プログラムは、今までMT(磁気テープ)サービスも行つていましたが、今後すべてDA(大記憶)サービスに変更しましたので、マクロ \forall APRUNはジョブ種別Aからでも計算依頼できるようになりました。したがつて、センターニュース版128でお知らせしましたアプリケーション及びライブラリコピーサービスについての対象マクロに、 \forall APRUNが追加されることとなります。

(ライブラリ室 電(内)2259)

◇ マクロの訂正について

センターニュース版128でお知らせしましたアプリケーション及びライブラリコピーのサービスについての欄で、対象マクロ \forall QUANTASとなつておりましたが \forall QUANTASの誤りでしたので、ここにお詫びすると共に訂正いたします。

(ライブラリ室 電(内)2259)